

【フリートーク:東京グリーンビズについて】

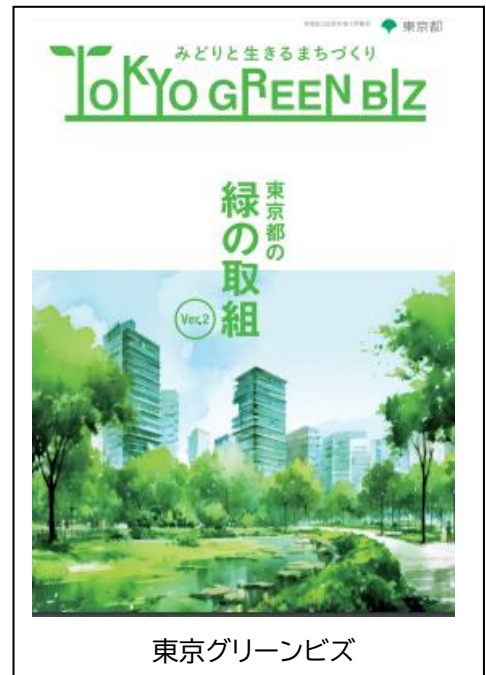
10月20日(日)に「第236回環境ひろば全体会」を開催し、フリートークでは東京グリーンビズについて意見を交換しました。東京グリーンビズとは2023年夏頃より始動している東京都による、多様な主体と共に進める新たなみどりのプロジェクトです。このプロジェクトは、100年先を見据え、「東京」の「緑(グリーン)」を、都民をはじめ、「様々な主体との協働(ビズ)」により、価値を高め、継承していく考え方となっています。

フリートークでは次のような意見が挙がりました。

- 現在策定中の次期環境基本計画に東京グリーンビズの取組を参考に入れられると良い。
- 市内の農地が宅地化され、緑地が減少している。相続税が問題で、売却防止の歯止め策が必要ではないか。
- 自然保護のために自宅の敷地内でも緑を維持するようにしている。個人での取組も重要だと思うので、今後も地域の環境活動に積極的に関わっていきたい。
- 地域に住む市民からの声が行政に十分に届いていないと感じることがある。意見集約の際には、市民とのコミュニケーションの改善や現状把握の徹底が必要であると思う。
- 地域住民の高齢化に伴い、緑そのものの維持費や管理負担が増す可能性がある。行政は長期的な施策を行うべきであり、緑の必要性について再検討をしてほしい。
- 人口増加が続き、マンション建設が進む中で、過去に比べ緑が少なくなっていると感じている。国分寺市では緑の基本計画や環境基本計画に基づいて取組を行っているが、それだけでなく、長期的な視点でのまちづくりが必要ではないか。
- 「ビズ」とはビジネスの略語であると思うが、一般的に言われる協働と東京都が示す協働、また市が示す協働と、それぞれ異なっているように感じる。
- 東京グリーンビズの内容が東京都目線であり、国分寺市の実情とは異なると感じている。市独自の緑地保全対策が求められると考えているが、助成金などでの解決には疑問がある。
- 10年前にはなかった取組を進めており、東京都内の緑地整備の進展は評価するが、災害対策を含めた総合的な自然環境保護に取り組んでいくことも重要な課題であるとする。

「東京グリーンビズ」は、単なる都市緑化プロジェクトにとどまらず、自然と共生する未来志向の都市モデルを形成するための重要な施策として、今後もさらなる発展が期待されています。

国分寺市も東京都の中の1つの自治体として、東京都と連携しながら、市の緑の基本計画で示す将来ビジョン「緑と水とともにいきるまち こくぶんじ」の実現に向け、取組を推進していくことが必要となります。



【姿見の池緑地で、親子自然体験作業・学習開催！】

10月27日、「里山へGO!」が姿見の池緑地保全地域にて開催されました。主催は東京都、協力は国分寺姿見の池緑の会とNPO法人国分寺市にふるさとをつくる会で、7月の開催に続き、今年度2回目の開催です。このイベントは、『未来の東京』戦略の一環で、東京の緑を都民と協力して、「まもる」「育てる」「活かす」ことを目的とした取組です。詳細は東京都のホームページをご覧ください。

今回の「里山へGO!」では、“緑を育てる”趣旨にのっとり、①姿見の池緑地での在来種植物の観察、②下草刈り等の作業体験、③ドングリ等を使ったクラフト作りを実施しました。参加者募集は東京都のホームページやチラシで行い、協力団体は市報や公民館ポスター、小学校等への広報活動で連携しました。応募者は、姿見の池の利便性の良さからか、定員を大きくオーバーし、当日は、抽選により選ばれた13家族・33名（子ども16名）が参加し、大盛況でした。

当日のアンケートでは、全てのプログラムで高い評価をいただき、

- いつも通る JR 中央線のこのような(西国分寺駅の)近くに、こんな自然があったと驚き！
- 小さな子どもに、大きなハサミを持たせてもらったのがよかった。
- すごく楽しかった、他にもつくりたいです。クリスマスツリーをつくりたい。

など、関わった多くのスタッフへ、感謝の言葉をいただきました。

(環境ひろば会員 白木昭憲)



親子で下草刈り



親子でクラフト

【(市制60周年記念)国分寺まつりで啓発活動を行いました】

環境ひろばでは、令和6年11月3日(日)と4日(月・祝)に都立武蔵国分寺公園で開催された「国分寺まつり」に出展しました。

今年は例年と異なり2日間の開催となりましたが、両日ともに晴天に恵まれました。

環境ひろばのブースでは、来場者の方に「生きものクイズ」に挑戦していただき、全問正解の方には環境にやさしいグッズをプレゼントしました。また、市内の「自然と生きものの多様性」や「生物多様性地域戦略(検討中)」のパネル展示のほか、「わたし、これ見たことある！目撃情報」として、特定外来生物8種(アライグマ、ハクビシンなど)を対象に目撃したものにシールを貼っていただき、目撃情報を収集しました。

2日間合計で1,379人と大変多くの方にご参加をいただき、子どもから大人まで楽しみながら生物多様性について学ぶ機会を創出しました。さらに、環境ひろばの活動紹介も展示し、環境ひろばの活動や国分寺市の環境の取組について広く周知をすることができました。これまで地球温暖化や環境問題について関心のなかった方にも考えるきっかけとしていただけたのではないかと思います。

ご来場いただきありがとうございました。



環境ひろばのブース風景

環境ひろばのお知らせ

12月15日(日)午前10時～正午 市役所 書庫棟会議室(戸倉1-6-1)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆様のご参加をお待ちしています。

(あとがき)

東京グリーンビズについて学んだ後、「樹冠被覆率が23区でこの9年の間で9.2%⇒7.3%に減った」という新聞記事を読んだ。戸建ての庭木が減っているとの事も要因の一つだろう。我が家の近隣でも庭の少ない開発が進んでいる。欧米都市には樹冠被覆率の目標を30%にしている所もあり、日本では緑被率やみどり率など色々な指標が並ぶが、国分寺市民として、何を大切にするか考えたい。(前澤)

国分寺市環境ひろば
事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-0012

国分寺市本町4-1-9本町クリスタルビル4階

TEL:042-314-9005(直通)

FAX:042-323-9060

Eメール:machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp